

株式会社オートバックスセブン

2019年3月期 決算説明会



2019年5月9日

2019年3月期 連結業績結果
および
2020年3月期 連結業績計画

執行役員 経理・財務・法務・IR・広報担当

平賀 則孝

2019年3月期 連結損益計算書



増収増益：国内チェーン売上増加、店舗子会社の収益改善が寄与
 タイヤは前年割れだったものの、前期に引き続きドライブレコーダーが好調に推移。
 店舗子会社の事業譲渡に伴い、売上総利益と販管費が減少も、タイヤ・車検などの
 広告宣伝が増加。災害損失や減損損失を計上したが、事業譲渡に伴う税効果もあり、
 当期利益は増益。

(単位：億円)

	2019年3月期				2018年3月期 実績※
	予想	実績	前年比	予想比	
売上高	2,150	2,138	+0.7%	▲0.5%	2,123
売上総利益	688	675	▲0.6%	▲1.8%	679
販管費	598	601	▲0.1%	+0.5%	601
営業利益	90	74	▲4.0%	▲16.9%	77
経常利益	100	82	▲0.3%	▲18.0%	82
親会社株主 帰属利益	68	54	+1.5%	▲19.3%	54
EPS (円)	82.41	66.58	+1.7%	▲19.2%	65.49
ROE	5.3%	4.4%	+0.1pt	▲0.9pt	4.3%

※2019年3月期より売上高にクレジット事業等による収入が含まれているため、
 昨年の発表値と異なります。

表示単位未満切り捨て
 売上比・前年比・予想比は円単位で算出

2019年3月期 連結決算のポイント



連結売上高 前年比 **+0.7%**

国内チェーン売上 前年比 +0.5% / 単体卸売 前年比 +0.8%

売上総利益 売上総利益率 前年度
31.6% ← **32.0%**

販管費 前年比 **約0.7億円減少**

営業利益 前年度
74.7億円 ← **77.8億円**

特別利益 **14.0億円** 災害に関わる受取保険金、
投資有価証券売却益

特別損失 **18.5億円** 災害による損失、子会社統合による
特別退職金、減損損失 など

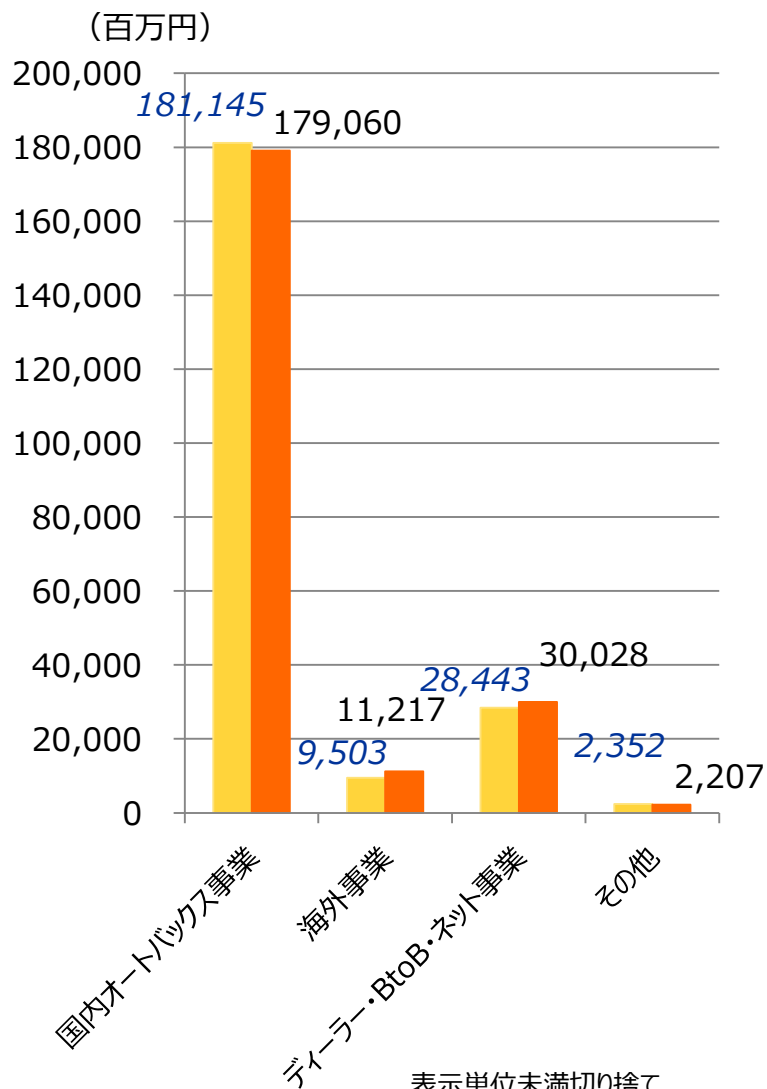
2019年3月期のポイント

- 昨年1月の関東地方を中心とした降雪による需要増加の影響もあり、タイヤは前年割れだったものの、前期に引き続きドライブレコーダーが好調
- 継続的な粗利改善の取り組みにより国内店舗子会社の収益が改善
- タイヤや車検のテレビCMの強化などにより販売費が増加するも、全体の販管費では減少
- 海外事業は各国における小売に加え、新たに豪州の卸売事業会社を子会社化するなど、より卸売事業に注力
- ディーラー事業およびBtoB事業は、今後の収益拡大に向けた体制整備を実施

報告セグメント別 売上および利益

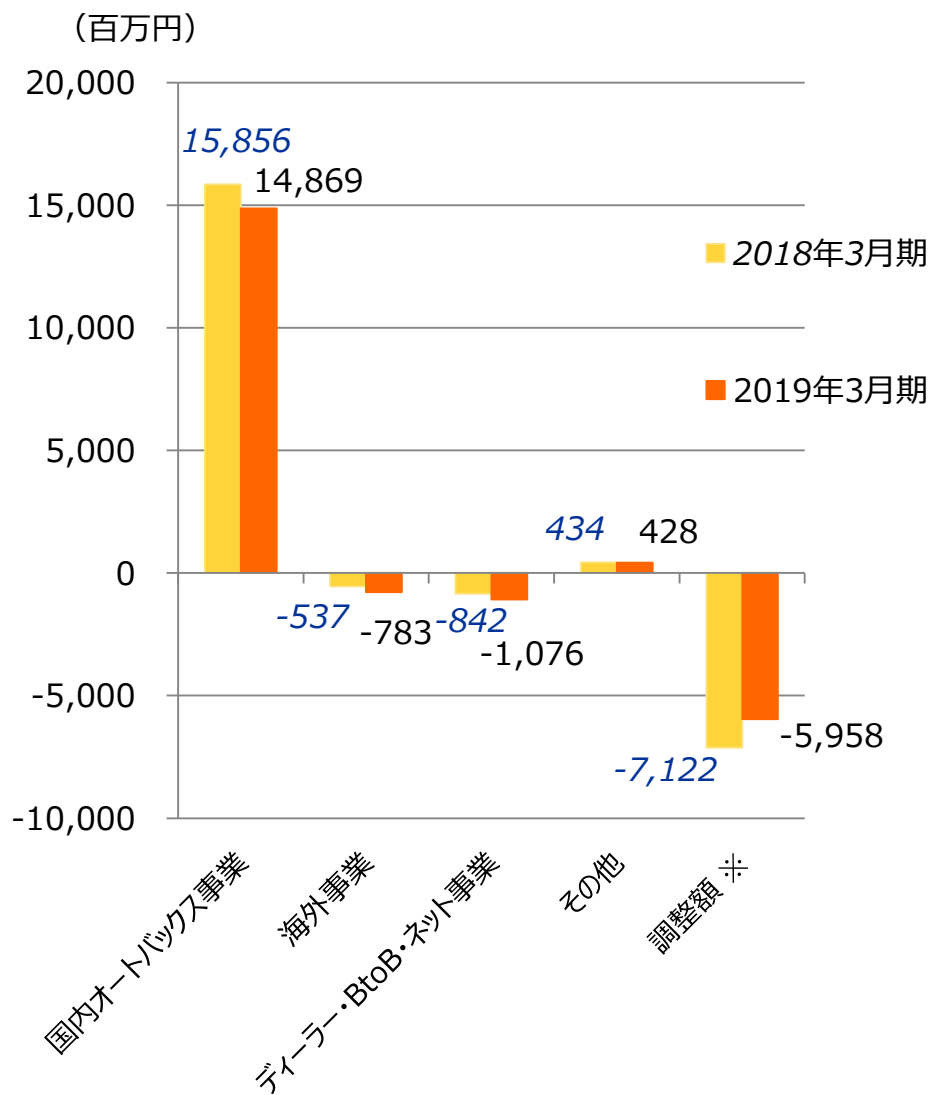


売上高



表示単位未満切り捨て
セグメント間取引を消去する前の数値

セグメント利益



※各報告セグメントに配分していない全社経費であり、主に一般管理費

報告セグメント情報



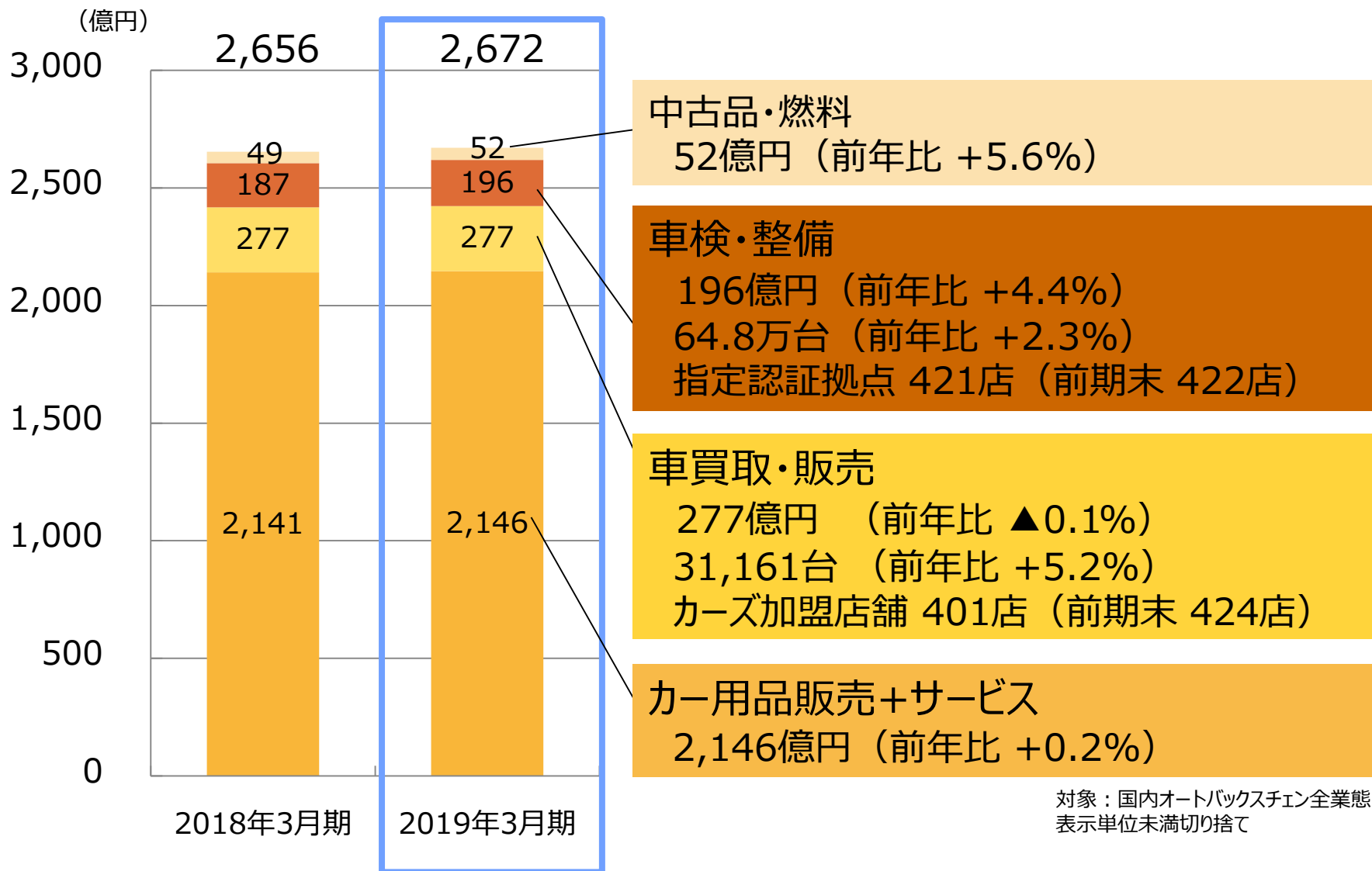
(単位：百万円)

		2019年3月期	2018年3月期	前年比	総括
国内オートバックス事業	売上高	179,060	181,145	▲1.2%	店舗子会社の事業譲渡に伴い、売上高、粗利額および販管費が減少。一方、販売促進や店舗リノベーションに関わる費用が増加。
	売上総利益	55,433	56,946	▲2.7%	
	販管費	40,564	41,089	▲1.3%	
	営業利益	14,869	15,856	▲6.2%	
海外事業	売上高	11,217	9,503	+18.0%	フランスやタイの店舗数増加に加え、各国での卸売も増加したが、経費も増加。また新たに豪州の卸売会社を子会社化。
	売上総利益	5,432	4,828	+12.5%	
	販管費	6,216	5,365	+15.8%	
	営業利益	▲783	▲537	-	
ディーラー・BtoB・ネット事業	売上高	30,028	28,443	+5.6%	輸入車ディーラーの拠点数増加に伴い売上が増加したものの、BtoB事業におけるオイル原価と物流コストの上昇などにより損失が拡大。
	売上総利益	6,002	5,433	+10.5%	
	販管費	7,079	6,275	+12.8%	
	営業利益	▲1,076	▲842	-	
その他の事業	売上高	2,207	2,352	▲6.1%	保険に関わる手数料収入が減少。
	売上総利益	711	758	▲6.2%	
	販管費	283	324	▲12.5%	
	営業利益	428	434	▲1.4%	
調整額	営業利益	▲5,958	▲7,122		

国内オートバックス事業 全店舗売上高



国内店舗売上高 2,672億円 前年比 +0.5%

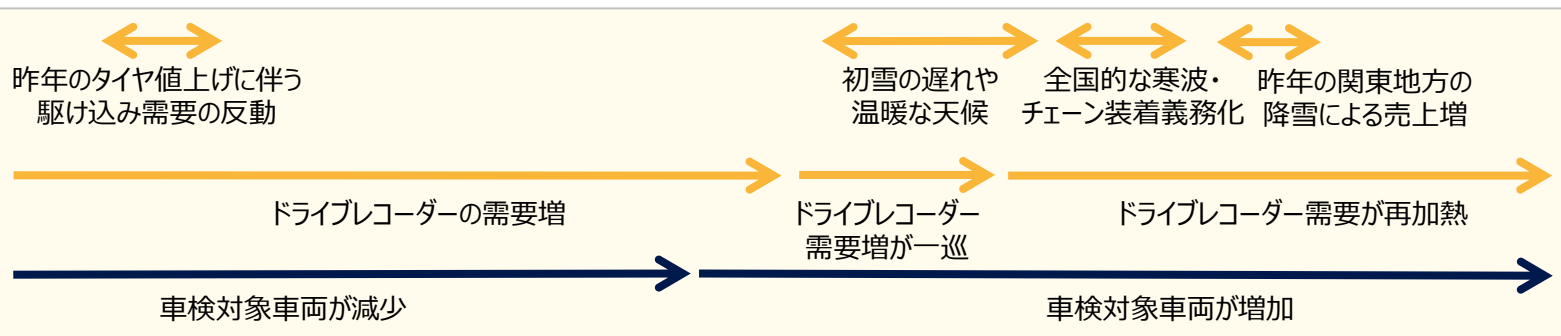
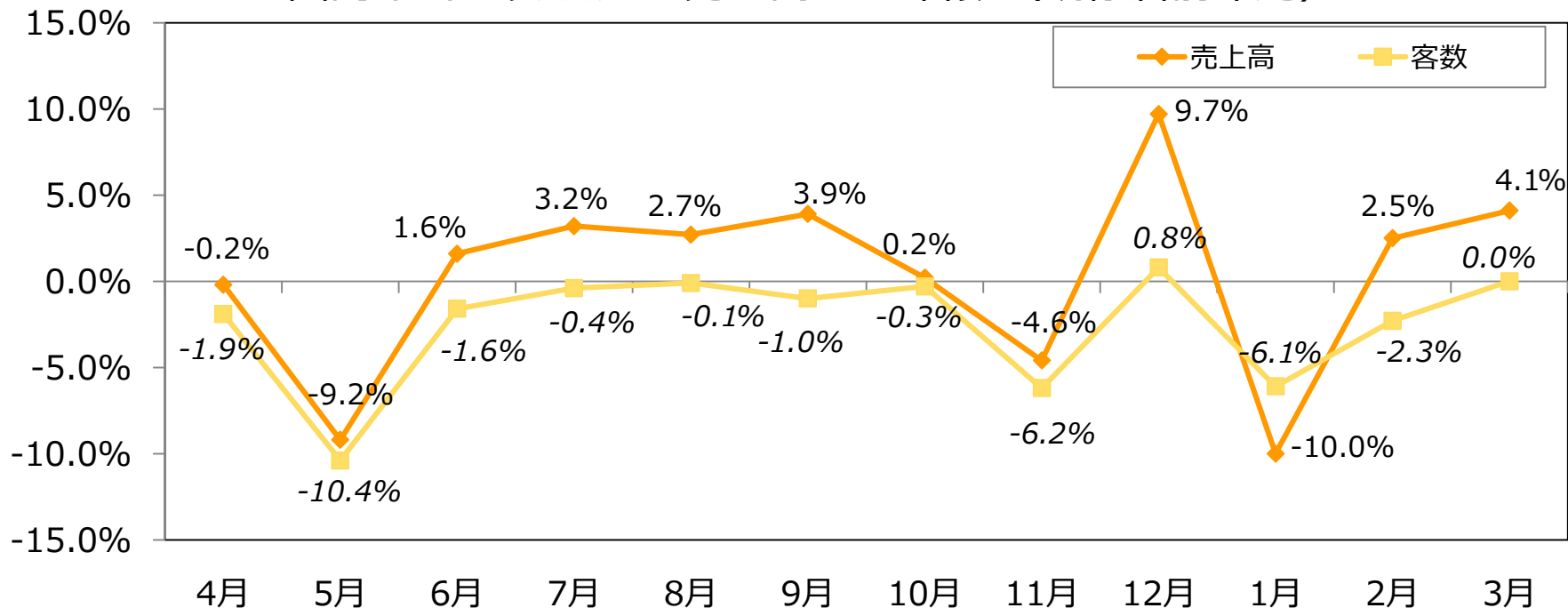


2019年3月期 事業環境振り返り



2019年3月期 通期：既存店売上前年比 +0.5% 客数前年比 ▲2.5%

国内オートバックスチェーン売上高および客数（既存店前年比）

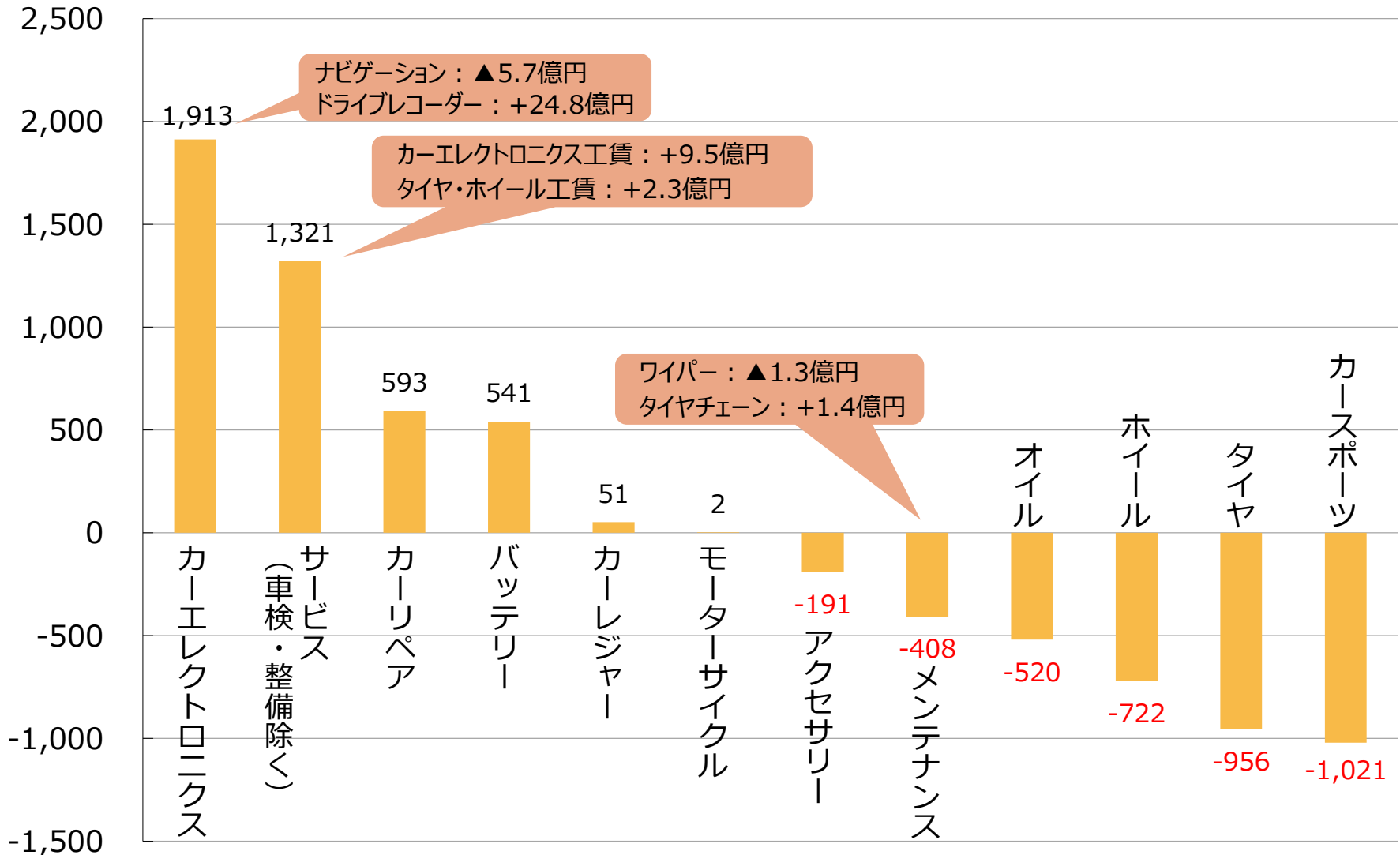


2019年3月期 商品別 カー用品売上増減額



商品別 小売売上高増減額 (前年比 全店ベース)

(百万円)

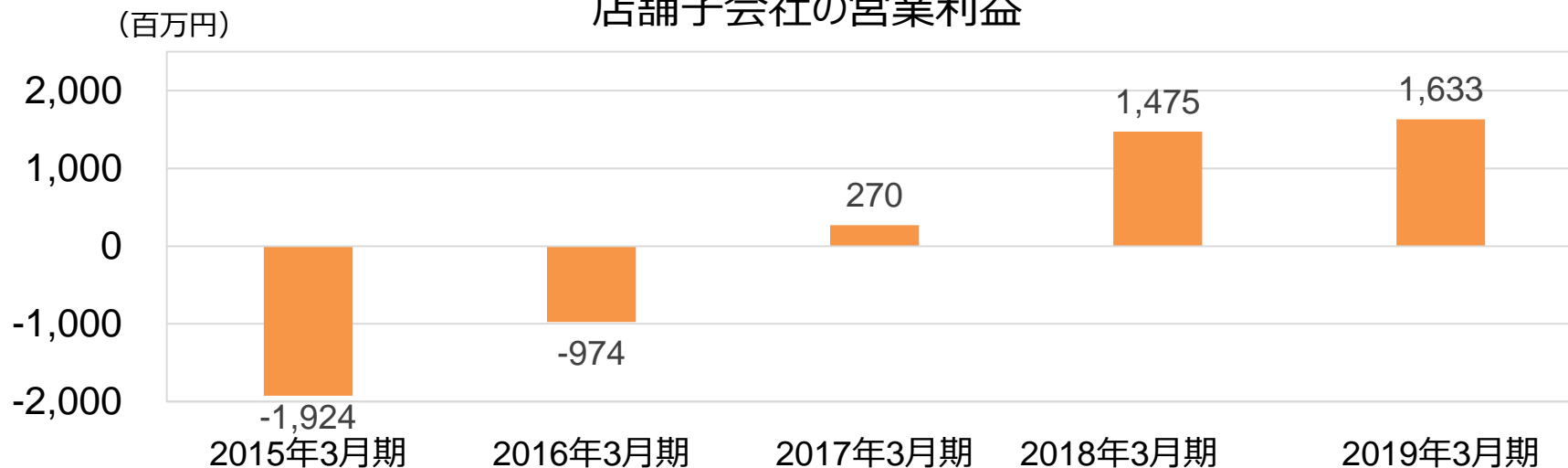


対象：国内オートバックスチェーン全業態

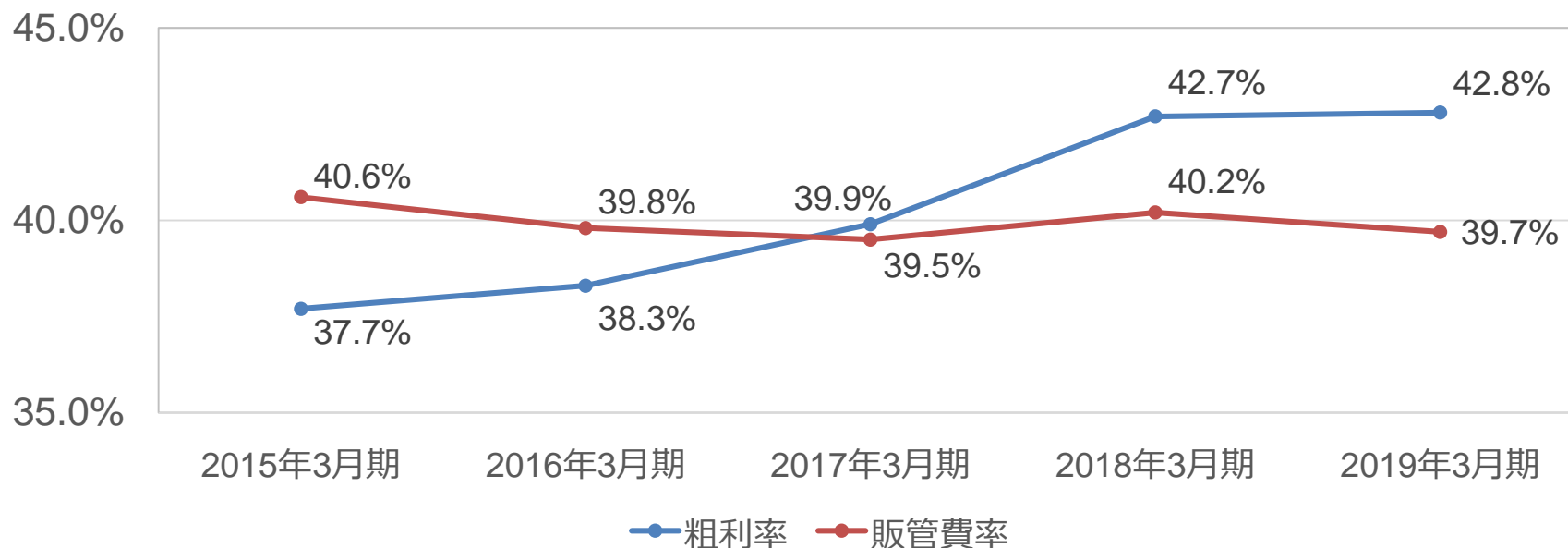
店舗子会社の収益改善



店舗子会社の営業利益



店舗子会社の指標の改善



2019年3月期 単体・国内店舗子会社



(単位：百万円)

	単体		国内店舗子会社	
	実績	前年比	実績	前年比
売上高	156,621	+308	53,453	▲4,586
売上総利益 (売上比)	33,140 (21.2%)	+838 (+0.5pt)	22,857 (42.8%)	▲1,948 (+0.1pt)
販管費	26,930	+216	21,223	▲2,107
営業利益	6,210	+621	1,633	+158
解説	<ul style="list-style-type: none"> ・増収増益 ・前期実施していた店舗への仕入原価の低減を通常に戻したことに加え、タイヤ・ホイール、カーエレクトロニクスの卸売好調により粗利額増加 ・タイヤ、車検に関わる広告宣伝の強化などにより販管費増加 		<ul style="list-style-type: none"> ・減収増益 ・みちのくオートバックス、オートバックス秋田の店舗譲渡により売上高、売上総利益が減少 ・粗利改善の取り組みと販管費の見直しにより営業利益が改善 	

表示単位未満切り捨て

海外子会社の状況



連結子会社の状況

(単位：百万円)

	フランス		タイ		シンガポール		中国		マレーシア		オーストラリア	
店舗数	11		15		3		0		4		0	
期間	19/3 通期	18/3 通期	19/3 通期	18/3 通期	19/3 通期	18/3 通期	19/3 通期	18/3 通期	19/3 通期	18/3 通期	19/3 通期	18/3 通期
売上高	7,846	7,190	510	371	1,310	1,390	573	452	48	36	763	-
販管費	4,244	3,818	298	216	564	589	200	170	59	63	218	-
営業利益	▲93	▲19	▲139	▲104	25	108	6	▲20	▲38	▲48	38	-
状況	2店舗を現地子会社直営化したことにより店舗数が増加するも、天候不順やデモなどの政情不安も影響し営業損失が拡大。		PTGグループのガソリンスタンドモール内への小型店出店に伴い売上は増加しているが、販管費も先行的に発生し、営業損失が拡大。		カーシェアリング業者の車両メンテナンスやハイパーマーケットなどへの卸売が増加したが、店舗におけるサービス売上などが低調で減益。		事業拡大に向けた経費が増加したものの、中国国内および国外向けカー用品卸売が伸長し、黒字化。		ハイパーマーケット向け卸売が増加。8月に不採算店を閉店。現地子会社の組織再編も実施し、営業損失が縮小。		2018年10月、現地で卸売ビジネスを展開するAudioXtra社を新たに子会社化。ほぼ想定通りの売上・利益で推移。	

表示単位未満切り捨て

2020年3月期 事業環境の想定



事業環境

【プラス要因】

- ・お客様のドライブレコーダーに対する関心の高まりが継続
- ・消費税増税に伴う駆け込み需要
- ・車検対象車両台数の増加に伴う車検需要の増加（上期まで）

【マイナス要因】

- ・消費税増税に伴う駆け込み需要の反動
- ・車検対象車両台数の減少に伴う車検需要の減少（下期以降）

国内店舗売上高 前年比

上期計画		下期計画		通期計画	
既存店	全店	既存店	全店	既存店	全店
+4.8%	+4.6%	▲1.5%	▲1.7%	+1.3%	+1.1%

対象：国内オートバックスチエン全業態の売上高

2020年3月期 連結業績計画



(単位：億円)

	2019年3月期 実績 (売上比)	2020年3月期 (計画)			
		上期 (売上比)	下期 (売上比)	通期 (売上比)	前年比 (増減)
連結売上高	2,138	1,050	1,180	2,230	+4.3%
売上総利益	675 31.6%	336 32.0%	370 31.4%	706 31.7%	+4.5% +0.1pt
販管費	601 28.1%	316 30.0%	310 26.0%	626 27.8%	+4.2% ▲0.3pt
営業利益	74 3.5%	20 1.9%	60 5.0%	80 4.0%	+7.0% +0.5pt
経常利益	82 3.8%	22 2.0%	65 6.0%	87 4.0%	+6.1% +0.2pt
親会社株主 帰属利益	54 2.6%	14 1.0%	44 4.0%	58 3.0%	+5.7% +0.4pt
ROE	4.4%			4.7%	+0.3pt
国内既存店売上	+0.5%	+4.8%	▲1.5%	+1.3%	—
国内全店売上	+0.5%	+4.6%	▲1.7%	+1.1%	—

表示単位未満切り捨て
売上比・前年比は円単位で算出

2020年3月期 業績計画 (セグメント別)



(単位：百万円)

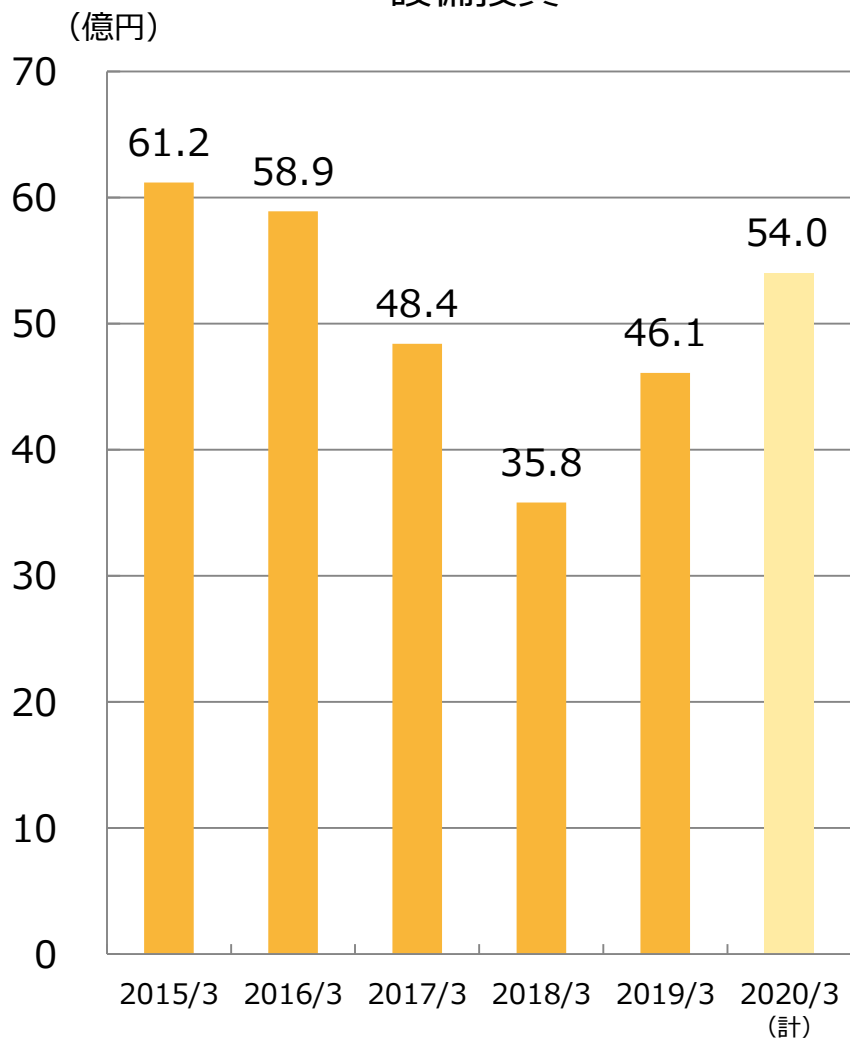
		2020年3月期 (計画)			
		上期	下期	通期	前年比
国内オートバックス事業	総売上高	85,090	97,720	183,810	+2.6%
	営業利益	5,490	9,710	15,200	+2.2%
海外事業	総売上高	6,500	7,100	13,600	+21.2%
	営業利益	▲160	▲140	▲300	—
ディーラー・BtoB・ネット事業	総売上高	15,870	16,130	32,000	+6.6%
	営業利益	▲300	▲300	▲600	—
その他の事業	総売上高	1020	1,130	2,150	▲2.6%
	営業利益	130	170	300	▲29.9%
調整額	営業利益	▲3,160	▲3,440	▲6,600	—

売上高はセグメント間の内部売上高および振替高を除く
表示単位未満切捨て
前年比は百万円単位で算出

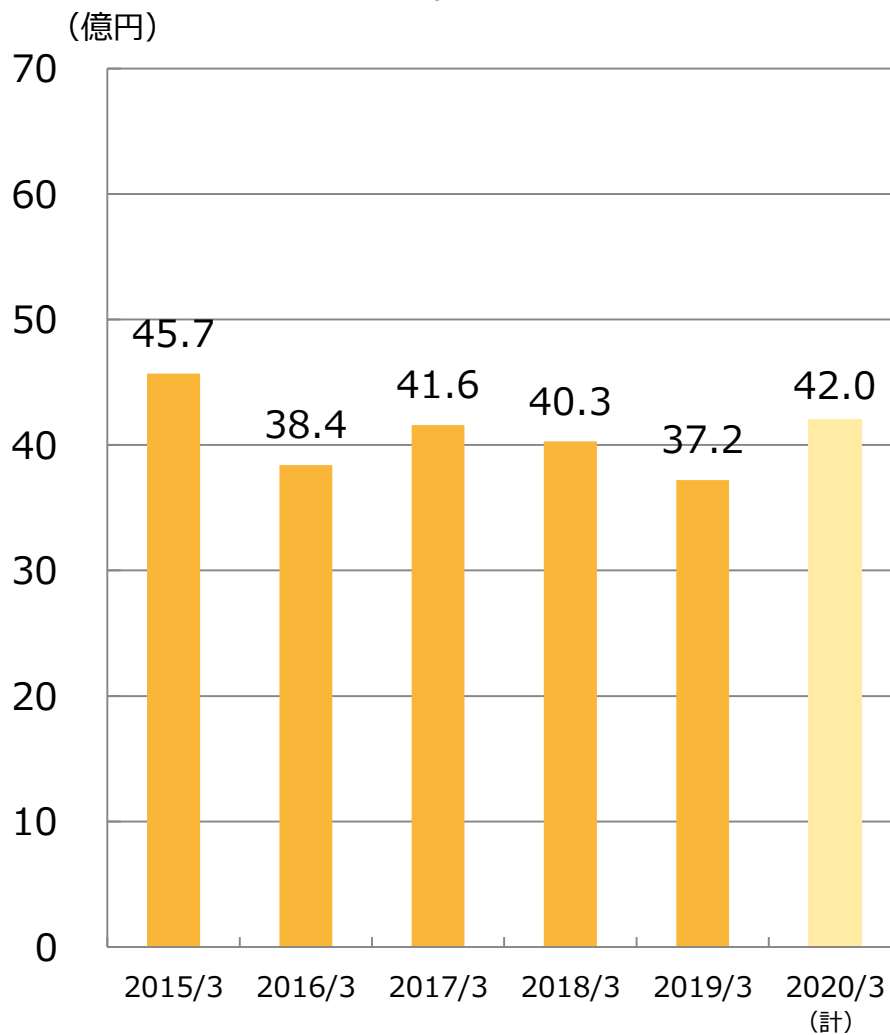
設備投資および減価償却費（連結）



設備投資



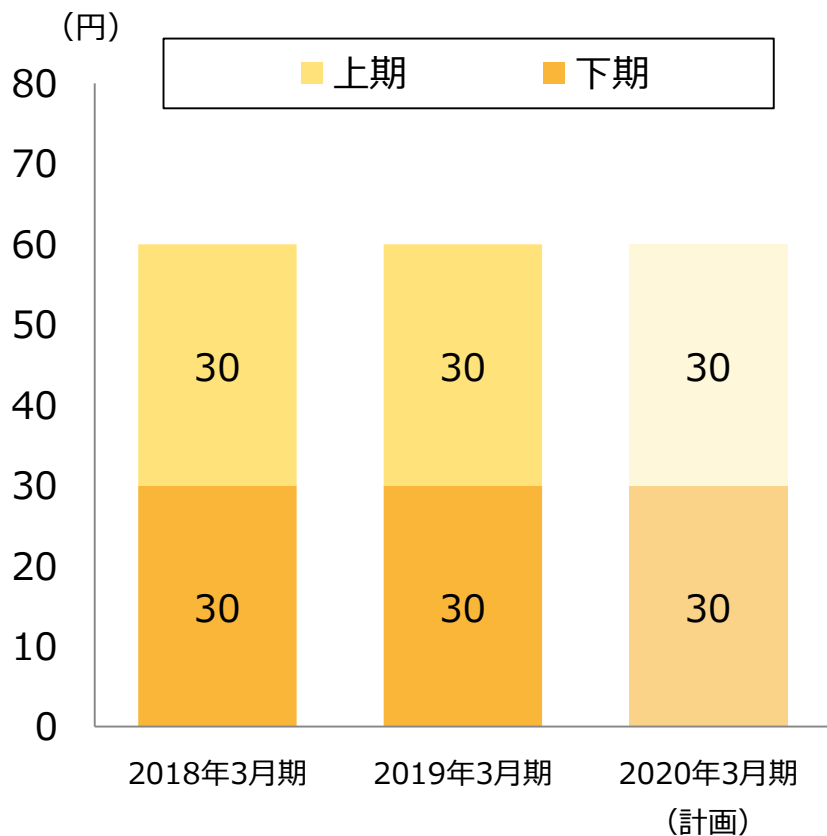
減価償却費



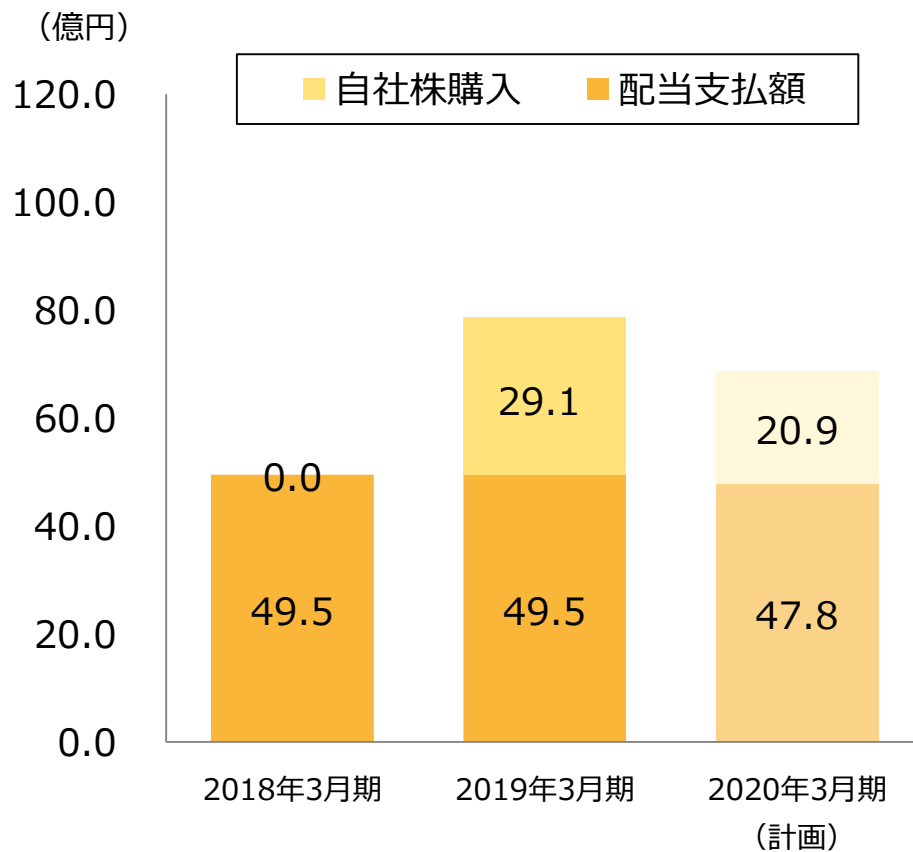
株主還元



一株当たり配当金



配当と自社株買い



表示単位未満切り捨て

中期経営計画の振り返り
および
5年ローリングプラン2019について

代表取締役 社長執行役員

小林 喜夫巳

中期経営計画の振り返り

連結グループとして目指した姿

1. オートバックス事業の再生

店舗と商品の魅力を高めてお客様に支持されている

2. 将来に向けた成長ドライバーの育成

- ・海外事業：各国のニーズに合った小売・サービスと卸売事業
- ・新規事業：車買取専門店、BtoB事業、輸入車ディーラーなど

経営目標（2020年3月期）

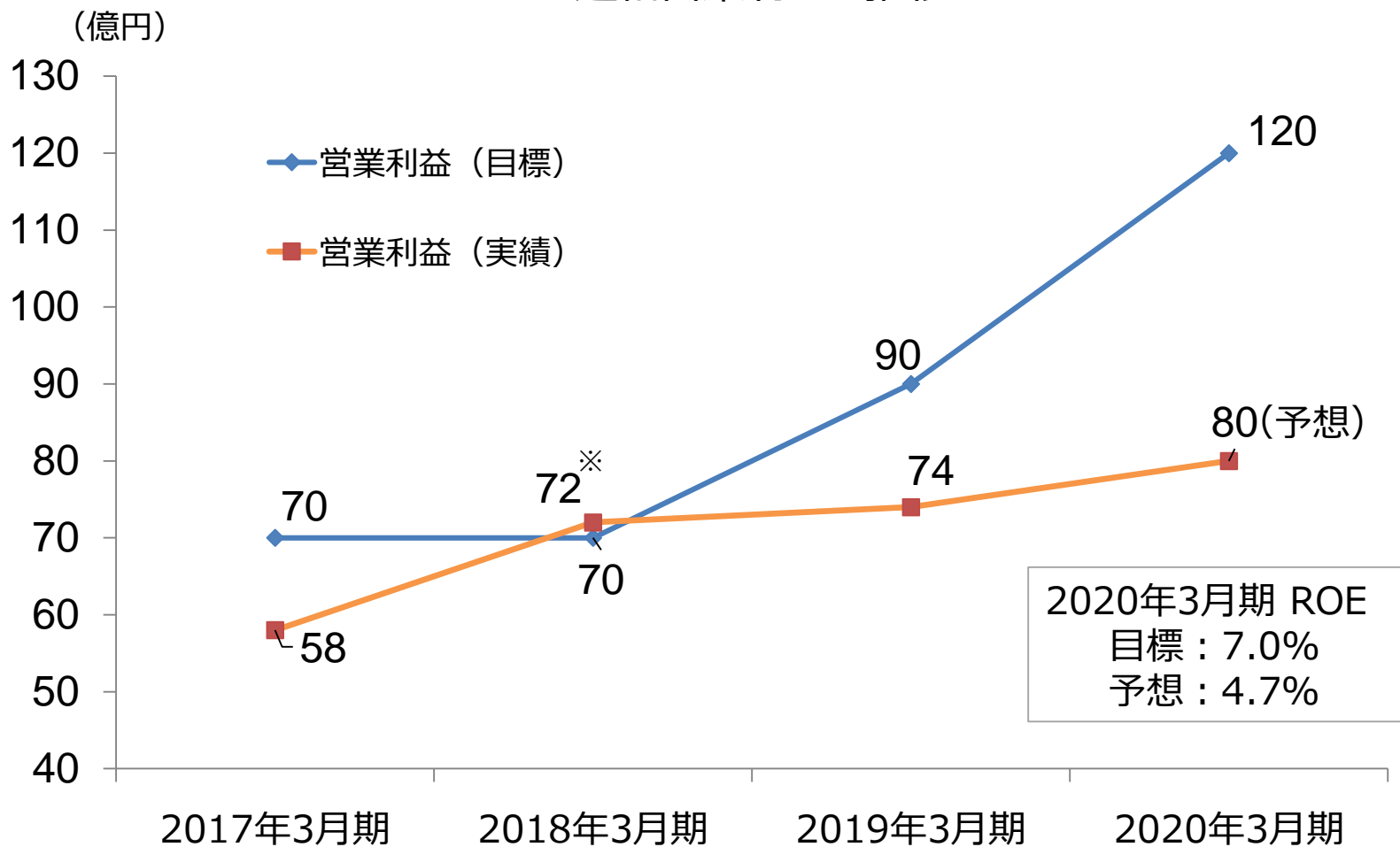
連結営業利益 120億円

連結ROE 7.0%

2017中期経営計画 結果



連結営業利益の推移



※表示方法変更後の
実績は77億円

お客様に提供する3つの価値

自己表現

好きな
クルマでもっと
自分らしく

クルマを
快適に
使いたい

安心・安全

クルマで
出かけて
楽しみたい

体験・発見

結果（国内オートバックス事業）

①魅力ある商品の開発

- ・安心・安全に関わる商品の開発、新ブランド立ち上げ



ペダルの見張り番



JKM



GORDON MILLER

- ・AQ.（オートバックス クオリティ.）のラインアップ拡充



エンジンオイル



ティッシュのように使える
マイクロファイバークロス



クルマ用芳香・消臭クリップ

結果（国内オートバックス事業）

① 魅力ある商品の開発

・クルマを使って楽しむ商品の展開



ドローン

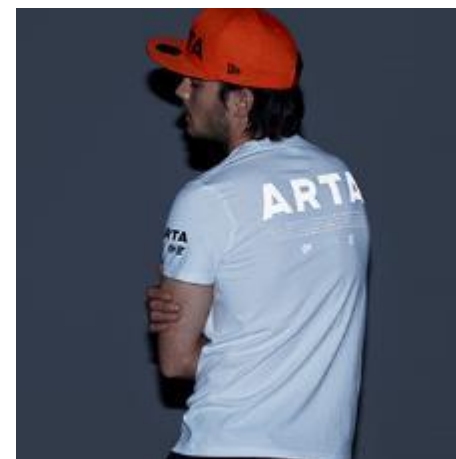


グラフィットバイク



キャンピングカー

・ARTAリブランディングによる関連商品の展開



結果（国内オートバックス事業）



JACK & MARIE GO FOR A RIDE クルマを通じたライフスタイルショップ

■リアル店舗出店を推進

2号店：ららぽーと名古屋みなとアクルス
(2018年9月28日オープン)

3号店：横浜ランドマークプラザ
(2018年11月8日オープン)

4号店：MARK IS 福岡ももち
(2018年11月21日オープン)



JACK & MARIEららぽーと名古屋みなとアクルス



JACK & MARIE横浜ランドマークプラザ



JACK & MARIE MARK IS 福岡ももち

結果（国内オートバックス事業）

②お客様のニーズに応える売り方開発

スーパーオートバックス富山南
(2018年9月1日リニューアルオープン)



スーパーオートバックス盛岡南
(2018年10月19日リニューアルオープン)



Smart+ 1 宇都宮店
(2018年9月7日オープン)



結果（国内オートバックス事業）



新たなコンセプトのフラッグシップ店舗



A PIT AUTOBACS SHINONOME

（2018年11月23日オープン）



結果（国内オートバックス事業）



店舗リノベーション

2019年3月期 実施店舗数：127店舗

変更前



変更後



レジ前の回遊性を改善



接客を要する商品の配置変更



レジ横業務スペースの改善



JKM、GORDON MILLERの展開

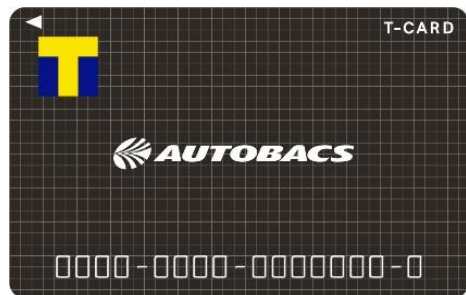
実施店舗における改善効果

- ①カー用品売上が向上
- ②接客効率が向上し、一人当たり売上・粗利が伸長

結果（国内オートバックス事業）

③ファミリー層、若年層のお客様の取り込み

- ・カスタマーボイスプログラム活用
- ・Tポイントへポイント統合
- ・オートバックス公式アプリのリニューアル
- ・会員制度見直しや宣伝広告費の最適配分に課題



Tポイントカード
(オートバックス発行)



結果（国内オートバックス事業）

④人材育成、活性化

- ・整備士育成と定着化
- ・従業員を褒めたたえる仕組みづくり



AUTOBACS GUYS 2018



第2回オートバックスアワード



価値観表彰パーティ

⑤魅力を上げるための基礎の強化

- ・物流コスト低減や店舗業務の省力化に課題

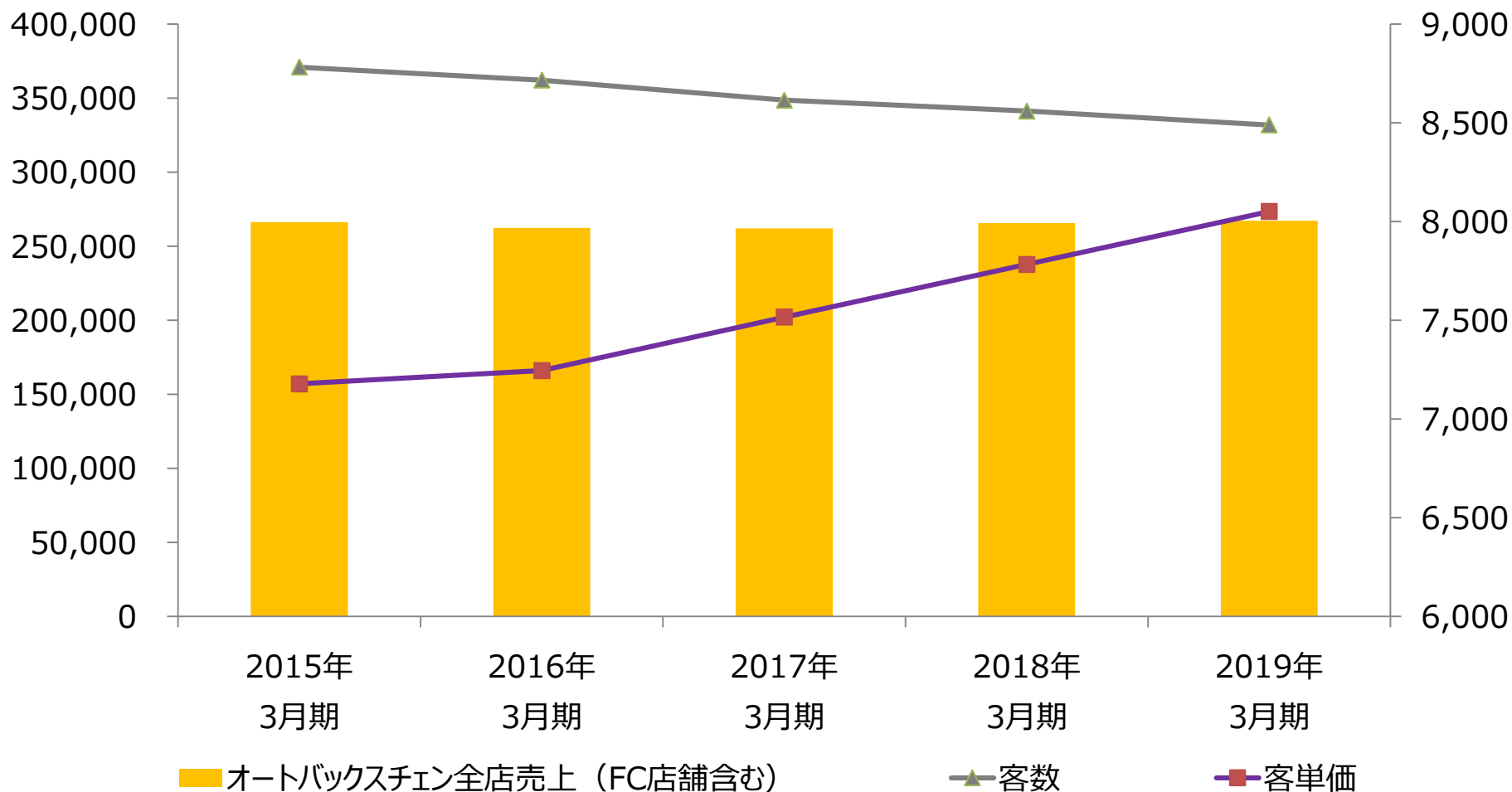
結果（国内オートバックス事業）



オートバックスチェーン全店の売上高および客数・客単価

(売上高：百万円／客数：百人)

(客単価：円)

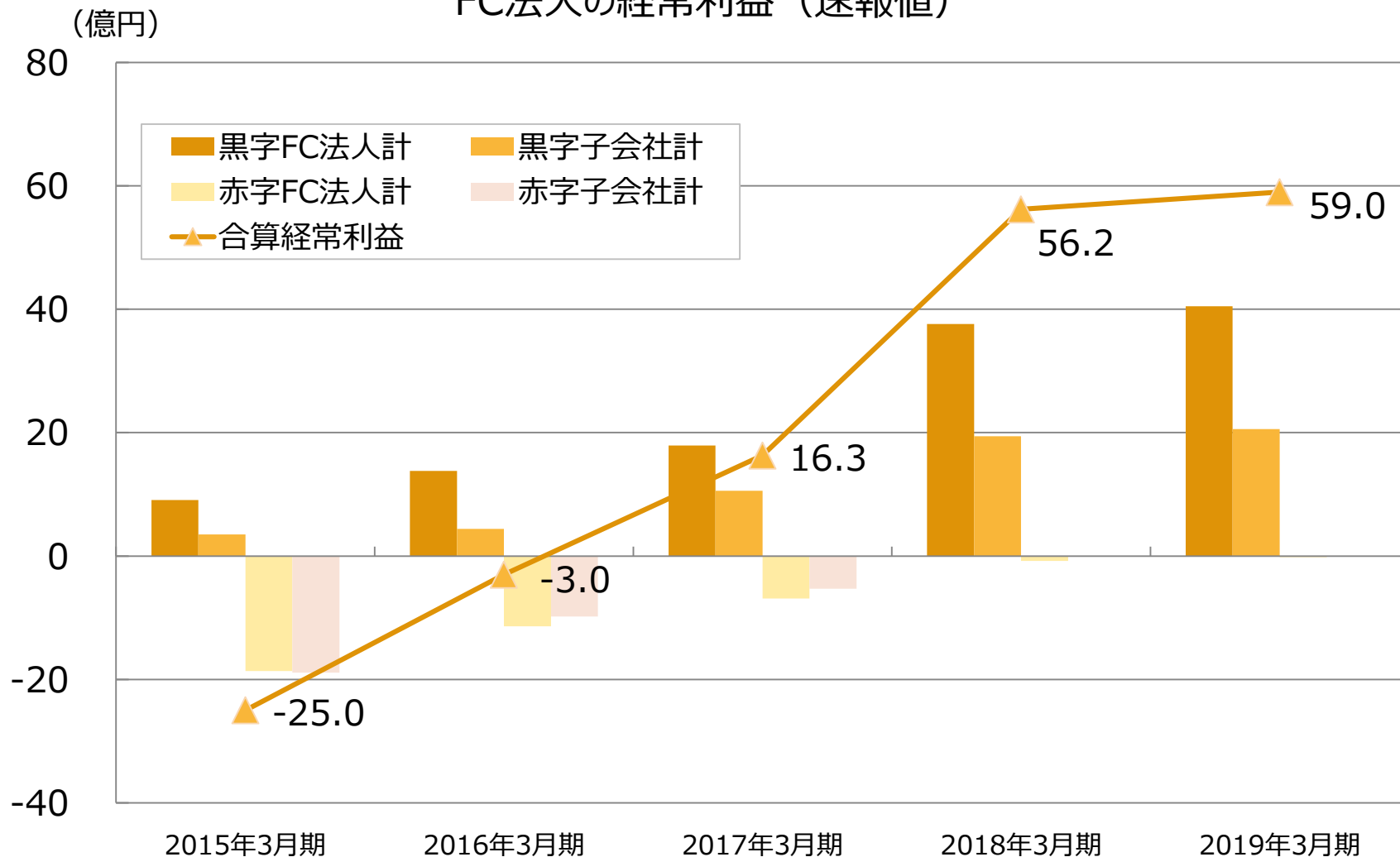


一人当たり買上点数
2016年3月期：2.67個 ⇒ 2019年3月期：2.97個

結果（FC法人の決算状況）



FC法人の経常利益（速報値）



注) 上場FC法人3社除く
一部FC法人は未確定のため見込み値

結果（海外事業、ディーラー・BtoB・ネット事業）

海外事業

- ・卸売事業モデルは実現
- ・小売事業は国ごとに精査



海外向けPB商品

ディーラー事業

- ・拠点数を拡大するも、収益の安定に課題



Ogikubo BMW

BtoB事業

- ・卸売事業子会社再編による収益改善

ネット事業

- ・基盤整備に集中

結果（基盤整備、アセットコントロール）

基盤整備

- ・ITコストの削減
- ・本社、本部人員の適正化と収益事業への人員再配置
- ・IT・物流資産の見直しと連結コストの削減に課題

アセットコントロール

- ・政策保有株式の売却
- ・資産効率の向上
- ・自己株式の取得

5カ年ローリングプラン2019

■ 当社の使命

新しいカーライフ文化を創造し続けること

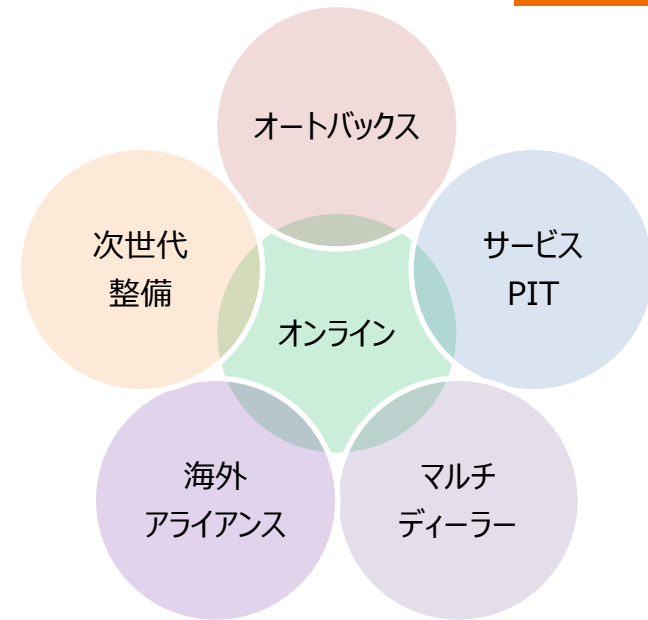
■ 5カ年ローリングプランで実現すること

クルマを利用するシーンに合わせたサービスを提供するために6つのネットワークを確立し、連携させます

6つのネットワーク



- 1) オートバックスチェーンネットワーク
- 2) 海外におけるアライアンスネットワーク
- 3) マルチディーラーネットワーク
- 4) 最適なサービスを提供するピットのためのネットワーク
- 5) 次世代技術に対応する整備ネットワーク
- 6) お客様とのリレーションを高めるオンラインネットワーク



- 1) モニタリング体制の強化
- 2) 執行体制の変更
- 3) 執行責任者の評価軸の変更
- 4) プロジェクト運営の増進
- 5) チャレンジを推奨する風土づくりは継続

成長戦略の推進により営業キャッシュフローを拡大し、積極的な事業投資および十分な株主還元を実施する

1) 事業投資に関する考え方

6つのネットワークを確立させるため、中長期的な成長につながる投資を行う

2) 株主還元に関する考え方

5年間累計の総還元性向を100%とする

5ヵ年ローリングプランの進め方

- 「5ヵ年ローリングプラン2019」の対象期間
2020年3月期から2024年3月期までの5年間
- 見直しの実施
5年間に縛られることなく、時流に合わせて継続的に、
5年後の方向性および戦略の見直しを実施
- 数値目標の発表
具体的な数値目標は単年ごとに発表

2020年3月期の目標と足元の取り組み



数値目標（連結）

売上高	2,230億円
営業利益	80億円
経常利益	87億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	58億円
ROE	4.7%

2020年3月期の目標と足元の取り組み

6つのネットワークを確立・連携させる取り組みに集中

事業基盤の整備も進める

- ・国内オートバックス事業リソースの効率化
- ・小売収益の拡大
(オートバックスチェーンの最適な在り方を模索する)
- ・実験業態の見直し
- ・海外小売事業の縮小
- ・IT基盤、物流基盤の再構築

オートバックスセブン・ビジョン 2050未来共創

プロフェッショナル&フレンドリー

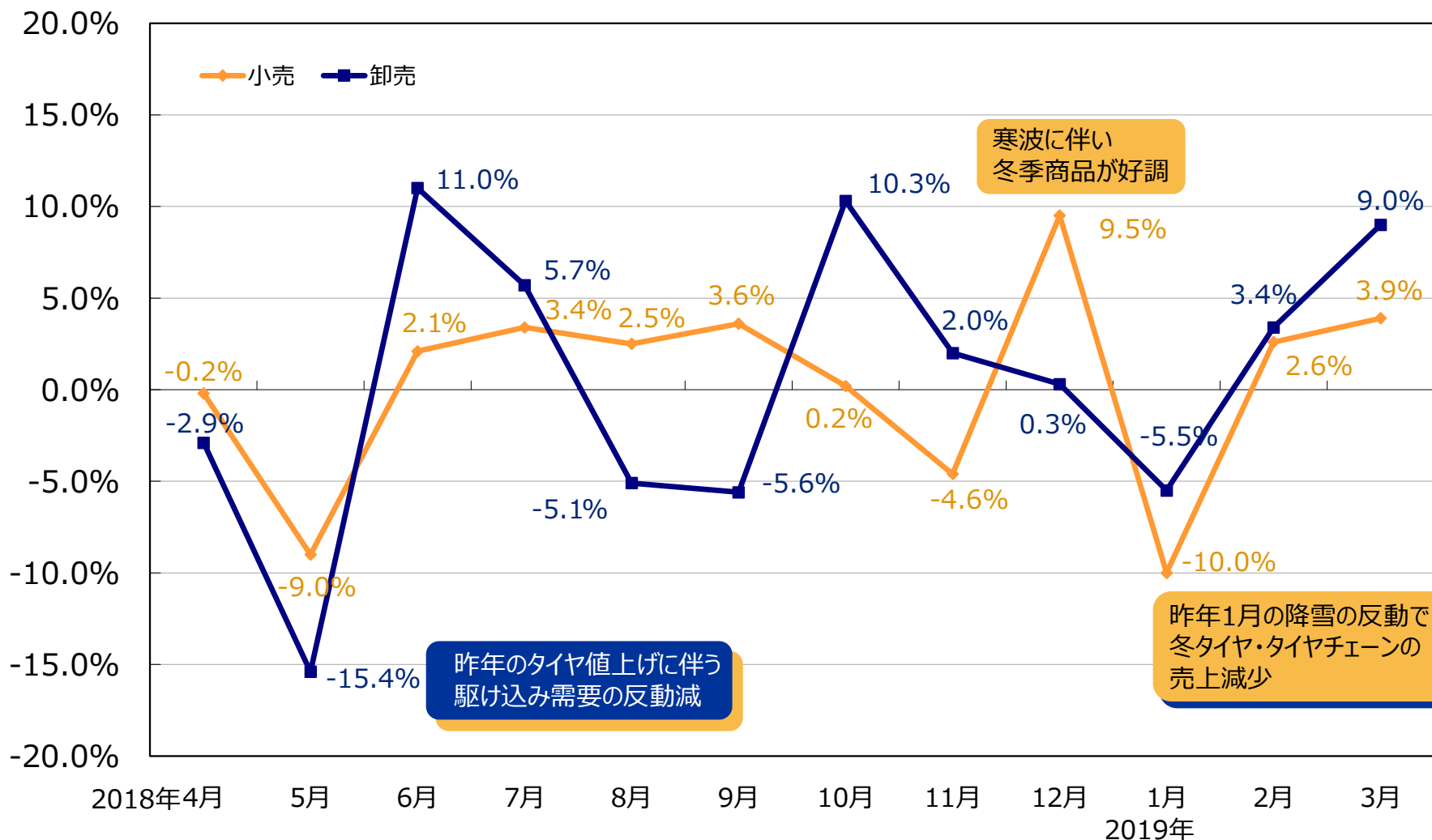


參考資料

小売売上と卸売売上の月次トレンド



小売売上・卸売売上 既存 前年比の推移

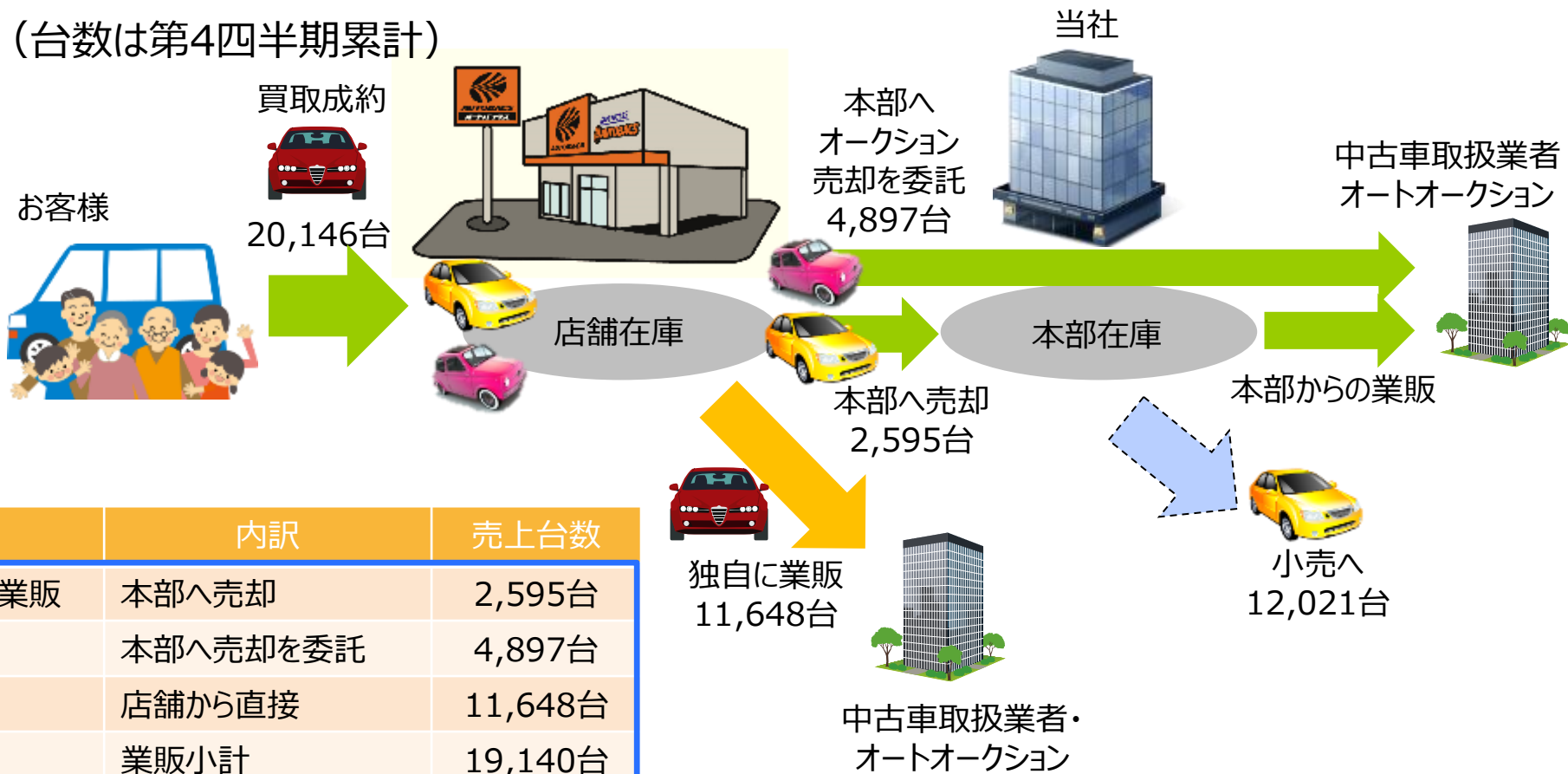


対象：国内オートバックスチェーン全業態
卸売は単体の国内オートバックス店舗向け卸売実績

車買取・販売のフロー その1

買取・業販の商流

(台数は第4四半期累計)

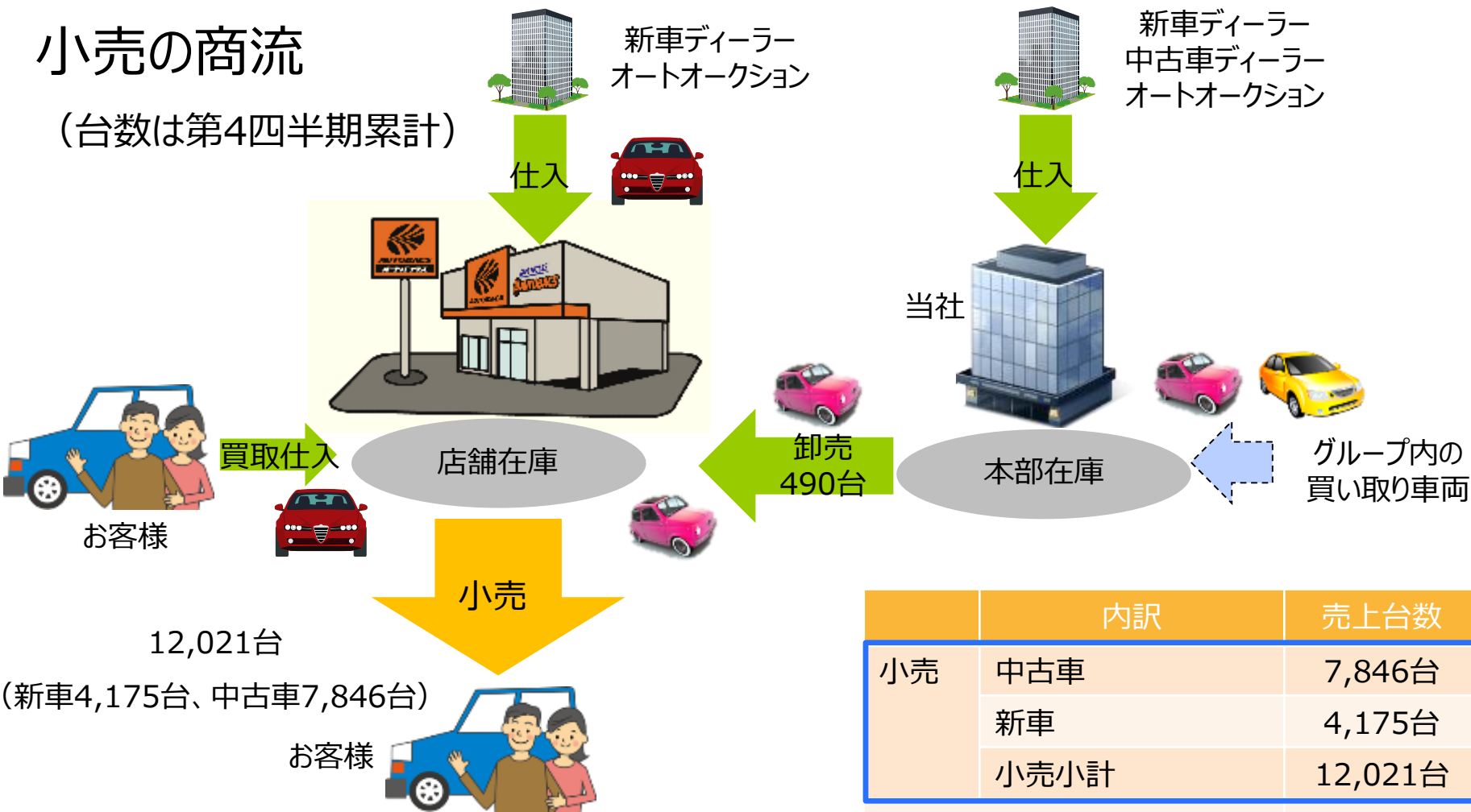


	内訳	売上台数
業販	本部へ売却	2,595台
	本部へ売却を委託	4,897台
	店舗から直接	11,648台
	業販小計	19,140台
小売		12,021台
合計		31,161台

車買取・販売のフロー その2

小売の商流

(台数は第4四半期累計)



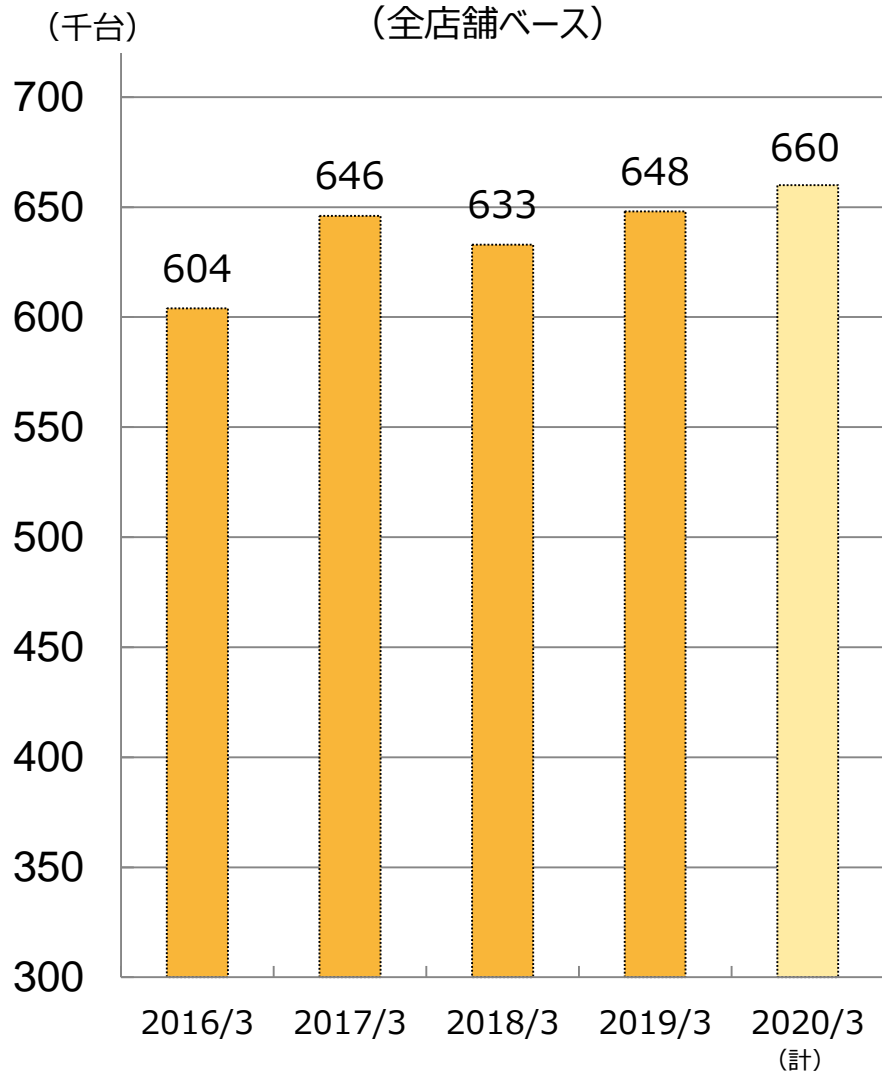
12,021台
(新車4,175台、中古車7,846台)

	内訳	売上台数
小売	中古車	7,846台
	新車	4,175台
	小売小計	12,021台
業販		19,140台
合計		31,161台

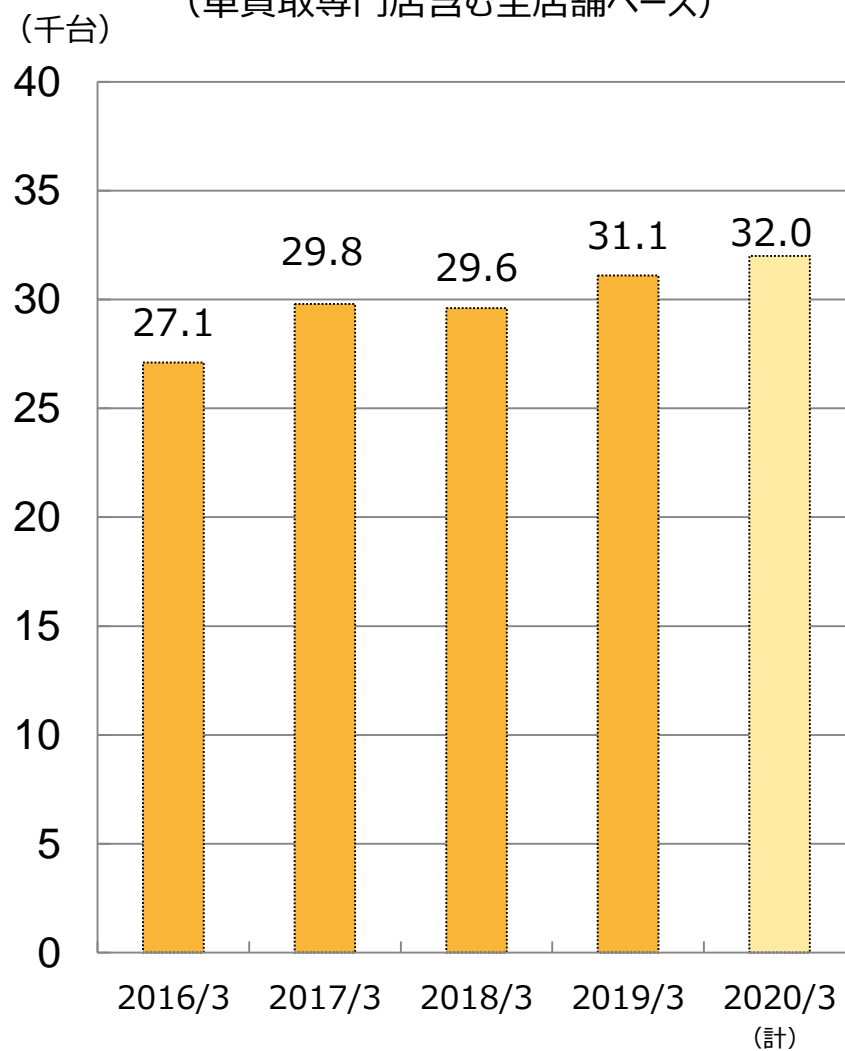
車検・整備と車買取・販売



車検実施台数の推移 (全店舗ベース)



車買取・販売台数の推移 (車買取専門店含む全店舗ベース)



2019年3月期 新規出店実績



国内

	店舗名	都道府県	運営法人	オープン日
1	Smart+1宇都宮店	栃木県	直営	2018年9月7日
2	スーパーオートバックス盛岡南 ※	岩手県	直営	2018年10月19日
3	オートバックス古河店	茨城県	FC	2018年10月25日
4	オートバックス東雲店 ※	広島県	子会社	2018年10月25日
5	オートバックス西尾店 ※	愛知県	FC	2018年11月23日
6	A PIT AUTOBACS SHINONOME ※	東京都	直営	2018年11月23日

海外

	店舗名	国	運営法人	オープン日
1	オートバックス ベッカセン25店	タイ	子会社	2018年5月11日
2	安托華中豊店	台湾	FC	2018年6月1日
3	安托華頭份店	台湾	FC	2018年6月1日
4	オートバックス カトゥンバン5店	タイ	子会社	2018年6月29日
5	安托華新竹店 ※	台湾	FC	2018年7月1日
6	オートバックス ヴィパワディ32店	タイ	子会社	2018年7月25日
7	オートバックス バンナー Km12 店	タイ	子会社	2018年7月27日
8	オートバックス カリマラン店	インドネシア	FC	2018年12月14日
9	オートバックス プッタモントン4店	タイ	子会社	2019年1月18日
10	オートバックス リブドゥアン ラミントラ店	タイ	子会社	2019年1月25日

※リロケーション、S&B、改装によるオープン

2019年3月期 四半期毎の連結損益計算書



(単位：億円)

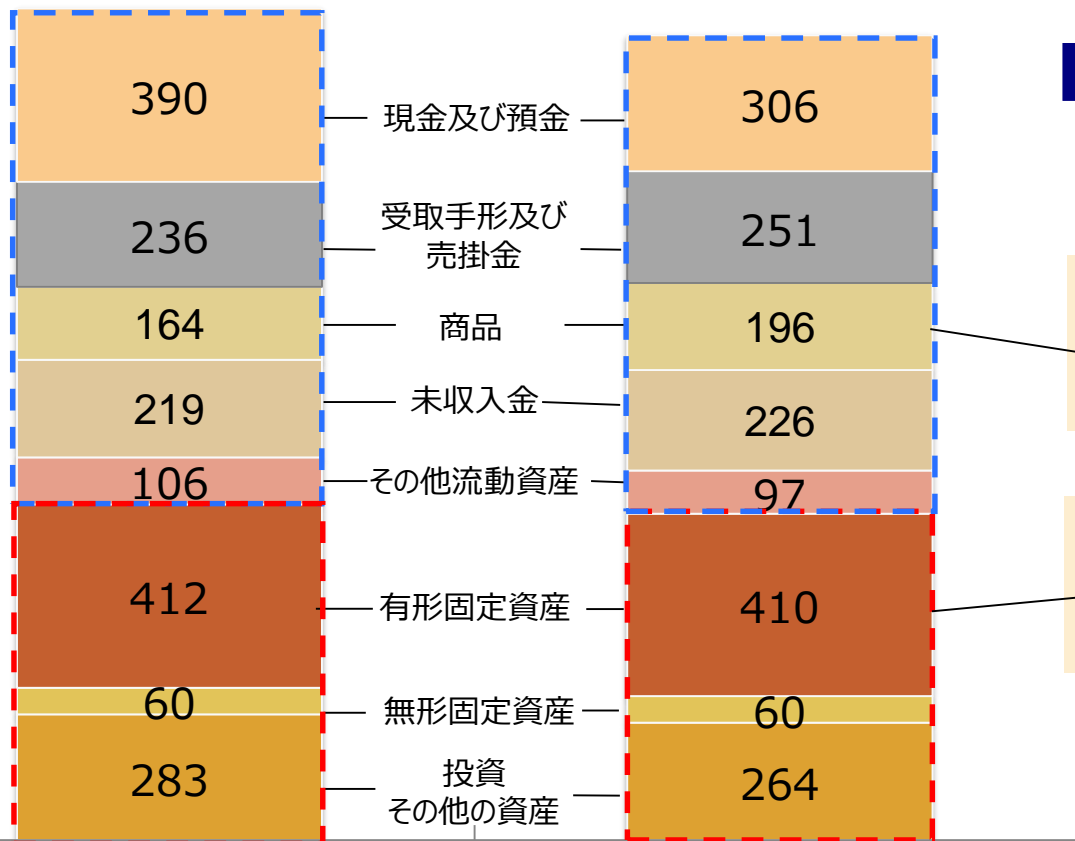
	Q1実績	Q2実績	Q3実績	Q4実績	通期実績
連結売上高	490	484	683	479	2,138
前年比	▲2.2%	+0.3%	+2.5%	+1.6%	+0.7%
売上総利益 (売上総利益率)	146 (29.9%)	161 (33.2%)	210 (30.8%)	157 (32.8%)	675 (31.6%)
前年比	▲5.2%	▲2.5%	+1.7%	+3.2%	▲0.6%
販管費	144	148	154	154	601
前年比	▲3.7%	+0.4%	+2.8%	+0.0%	▲0.1%
営業利益	2	12	56	3	74
前年比	▲47.3%	▲27.4%	▲1.4%	-	▲4.0%
経常利益	5	12	60	2	82
親会社株主帰属純利益	3	2	40	8	54
既存店売上前年比	▲2.7%	+3.2%	+2.4%	▲1.3%	+0.5%

表示単位未満切り捨て
売上比・前年比は円単位で計算

連結貸借対照表 資産の部



資産合計	資産合計
1,873億円	1,813億円



主な変動項目

国内オートバックス事業 +13億円
その他 +18億円

建物および構築物 +13億円
土地 ▲10億円

2018年3月末

2019年3月末

表示単位未満は切り捨て表示

連結貸借対照表 負債・純資産の部

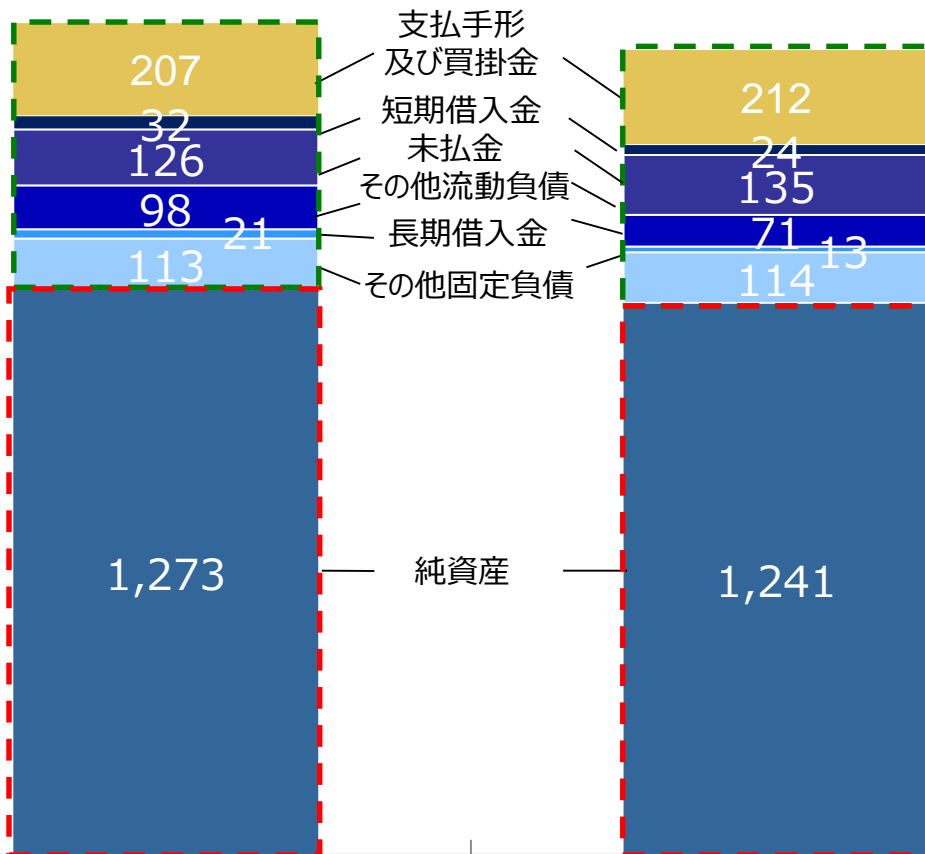


負債・純資産合計

1,873億円

負債・純資産合計

1,813億円



主な変動項目

支払配当 ▲49億円
 当期純利益 +54億円
 自己株式取得 ▲29億円

2018年3月末

2019年3月末

表示単位未満は切り捨て表示

出退店の実績



国内	18/3 末	2019年3月期						19/3 末
		上期			下期			
		新店	S/B R/L	退店	新店	S/B R/L	退店	
オートバックス	497	+1		▲4	+1	+2/▲2	▲2	493
スーパーオートバックス	74					+2/▲2		74
オートバックスセコハン市場	8						▲1	7
オートバックスエクスプレス	11							11
オートバックスカーズ	13			▲3			▲2	8
国内計	603	+1		▲7	+1	+4/▲4	▲5	593

海外	18/3 末	2019年3月期		19/3 末
		上期	下期	
フランス	11			11
タイ	9	+4	+2	15
シンガポール	3			3
台湾	6	+3/▲1	▲1	7
マレーシア	5	▲1		4
インドネシア	4	▲1	+1/▲1	3
フィリピン	3			3
海外計	41	+4	+1	46

S/B : スクラップ&ビルド
R/L : リロケーション (業態転換含む)



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。
これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、
今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性があります。